

高度医療評価会議において承認された新規技術に
対する事前評価結果等について

先 - 1
22. 10. 4

整理番号	技術名	適応症	医薬品・ 医療機器情報	保険給付されない 費用 ^{※1※2} (「高度医療に係る費用」)	保険給付される 費用 ^{※2} (「保険外併用療養費」)	事前評価 担当構成員 (敬称略)	総評	その他 (事務的対応等)
018	インスリン依存状態糖尿病の 治療としての心停止ドナー臍 島移植	インスリン依存状 態糖尿病	①ジェンザイム・ジャパン株式会社製一般名：抗ヒト胸腺 細胞ウサギ免疫グロブリン、製品名：サイモグロブリン ②ワイス株式会社・武田薬品工業株式会社製一般名：エ タネルセプト、製品名エンブレル ③ノバルティスファーマ株式会社製一般名：バシリキシマ ブ、製品名：シムレクト ④アステラス製薬株式会社製一般名：タクロリムス、製品 名：プログラフ ⑤ノバルティスファーマ株式会社製一般名：シクロスポリ ン、製品名：ネオーラル ⑥アステラス製薬株式会社製一般名：タクロリムス水和物 徐放性カプセル、製品名：グラセプター ⑦中外製薬株式会社製一般名：ミコフェノール酸モフェチ ル、製品名：セルセプト	1313万5千円 (3回)	221万8千円	福井 次矢	適	別紙1
026	転移・再発を有する腎細胞癌 に対するピロリン酸モノエステ ル誘導γδ型T細胞と含窒素 ビスホスホン酸を用いた癌標 的免疫療法	サイトカイン療法不 応性の転移・再発 性腎癌	①ノバルティスファーマ株式会社製一般名：ゾレドロン酸、 製品名：ゾメタ、 ②東京女子医科大学病院無菌細胞調整室(CPC)にて、 院内製剤として製造一般名：自己活性化γδ型T細胞浮 遊液、製品名：自己活性化γδ型T細胞浮遊液	71万2千円 ただし1コース目は 382,130円、2・3コー ス目は560,330円	154万7千円	吉田 英機	適	別紙2

※1 医療機関は患者に自己負担を求めることができる。

※2 典型的な1症例に要する費用として申請医療機関が記載した額。

【備考】

○「第2項先進医療」は、薬事法上の未承認又は適応外使用である医薬品又は医療機器の使用を伴わず、未だ保険診療の対象に至らない先進的な医療技術。

○「第3項先進医療(高度医療)」は、薬事法上の未承認又は適応外使用である医薬品又は医療機器の使用を伴い、薬事法による申請等に繋がる科学的評価可能なデータ収集の迅速化を図ることを目的とした、先進的な医療技術。